



報道機関 各位

記者発表資料

令和2年7月28日(火)

問い合わせ先：環境創造政策課

課長：横山

担当：重原、山崎

電話：829-1324

内線：3119

### 脱炭素社会の実現に向けて

「RACE TO ZERO DIALOGUE」に参加し、トップセールスを行います  
～「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指します～

国連の定める「世界環境デー（6月5日）」に、国連気候変動枠組条約（UNFCCC）事務局が主導する「Climate Ambition Alliance（気候野心同盟）」の国際キャンペーン「RACE TO ZERO（レース・トゥ・ゼロ）」が発表されました。

本キャンペーンは、2018年に公表された気候変動に関する政府間パネル（IPCC）の「1.5℃特別報告書」で示された、2050年までに温暖化による気温上昇を1.5℃に抑えるため2050年前後に二酸化炭素排出量実質ゼロを達成することを目標とする国際的な取組です。

明日、本キャンペーンの一環として開催される「RACE TO ZERO DIALOGUE（RACE TO ZERO 対話）」に清水市長が出席しますので、お知らせします。

#### 1 会議日時

【日時】令和2年7月29日（水） 午後3時から午後4時まで

【場所】オンライン会議（市役所本庁舎 4階政策会議室）

※取材を御希望の場合は、事前に環境創造政策課まで御連絡ください。

#### 2 会議概要

「RACE TO ZERO DIALOGUE（RACE TO ZERO 対話）」は、脱炭素社会の実現に向けた取組を牽引する主導者とともに、ヨーロッパ、日本、韓国、オーストラリアの都市と地域の代表による表明と行動経験を示すオンライン会議です。

本会議では、本市が脱炭素社会の実現に向けて取り組んでいくことを発信し、国や国内外の先進自治体など様々なステークホルダーと連携していくことを共有します。

### 3 出席者

小泉 進次郎	環境大臣
ナイジェル・トッピング	COP26 ハイレベル気候チャンピオン <sup>※1</sup>
阿部 守一	長野県知事
アンナ・レイノルド	オーストラリア、ホバート市長
ヨム・テヨン	韓国、水原（スウォン）市長
ミーナ・アルベ	フィンランド、トゥルク市長
清水 勇人	さいたま市長
アショク・シドラハン	ドイツ、ボン市長（イクレイ <sup>※2</sup> 会長）
ユヌス・アリカン【モデレーター】	イクレイ世界事務局

※1 UNFCCC事務局長とともに気候変動枠組条約第26回締約国会議（COP26）で重要な役割を担う役職

※2 持続可能な都市と地域をめざす自治体協議会

### 4 参考

地方公共団体における2050年二酸化炭素排出実質ゼロ表明<sup>※</sup>の自治体数  
103自治体（19都道府県、48市、1特別区、26町、9村）【令和2年7月27日時点】

※ 2050年までに二酸化炭素排出実質ゼロ（ゼロカーボンシティ）を目指す旨を首長自らが又は地方公共団体として表明した地方公共団体

※ 出典：環境省ホームページ